

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 1. 16

下水道機構の『新技術情報』 第267号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

週末は寒かったですね～。数年に一度レベルの寒波という予報を知り、急きょ温度計を用意し寒波を待ち受けました。昨日の朝7時の我が家の庭の気温はマイナス3.6度、今朝はマイナス3.2度!!! 日本海側を中心に今日も大雪の地域もあるようです。交通機関の乱れや、道路の凍結、体調管理等々どうぞお気を付けください。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第267号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・1月の技術サロンは、国土交通省水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課企画専門官 岩崎宏和氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は、行事はありません

■Tea Break

・「陥没対応に思う」(技術評価部 M.Aさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・今回のゆいまーるは、NHK大河「おんな城主 直虎」で今、注目の浜松市からお届けします♪

■国からの情報

・1/13付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。

●1月の技術サロンは、国土交通省水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課企画専門官 岩崎宏和氏をお迎えして開催しました。

今回のテーマは「平成 29 年度下水道事業予算等について」でした。
講演内容は、平成 29 年度の下水道関連予算の概要として、予算額の概要や新規事項、B-DASH プロジェクトの全国展開の方向性などについてご講演いただきました。
社会資本総合整備全体では、「防災・安全」に対する重点化が図られ予算増となっており、下水道事業においては地震・浸水対策や老朽化対策、合流改善対策の支援を更に進めるとのことです。新規事項では、防災・減災、老朽化対策への支援として、一定規模以上の避難所等におけるマンホールトイレ設置について下水道総合地震対策事業の交付対象への追加や、民間が整備する雨水浸透施設の設置について新たに特定地域都市浸水被害対策事業の対象へ追加、下水道老朽管の緊急改築推進事業の延伸が挙げられています。また、地域活力の向上・持続的な運営に向けた下水道整備として、下水道事業の広域化・効率化や、下水道汚泥のエネルギー・農業利用、PPP/PFI 手法の導入促進のための下水道地域活力向上計画策定事業の創設、昨今の ICT 技術の動向を踏まえた新世代下水道支援制度の見直しなどについて、詳細にご説明いただきました。その他、行政経費や震災復興等の取り組み等についても併せてお話いただきました。

さて、次回のサロンは、2 月 9 日（木）17:00 から 18:00 での開催となります。ゲストは東京都下水道局 計画調整部 技術開発課 課長代理 堀口陽子氏をお迎えして、「現場硬化型管きよ更生工法(CIPP)の品質管理について～ドイツ・アメリカの事例報告～」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

○行 事：平成 28 年度第 2 回下水処理場における総合バイオマス利活用検討委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

日 時：平成 29 年 1 月 27 日（金） 15:00～17:30

案 件：(1)事業化に向けた実現可能性調査（FS）の検討

(2)下水処理場における地域バイオマス利活用事業実施に係るマニュアルの検討

○行 事：第 356 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 2 月 9 日（木） 17:00～18:00

ゲスト：東京都下水道局 計画調整部 技術開発課 課長代理 堀口陽子 氏

テーマ：「現場硬化型管きよ更生工法(CIPP)の品質管理について～ドイツ・アメリカの事例報告～」

※お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○行 事：第 65 回 新技術現場研修会

場 所：品川シーズンテラス（東京都港区港南 1-2-70）

日 時：平成 29 年 2 月 17 日（金）14：30～17：00 受付 14：00～

集合場所・時間：東京都芝浦水再生センター（東京都港区港南 1-2-28）

14：20 集合

解散場所・時間：品川シーズンテラス 17：00 解散

対象者：下水道機構の出捐団体・賛助会員及び公共団体等の下水道技術者

定 員：50 名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

※申込み多数と予想されるため、原則、1 機関 1～2 名とし、先着順に受けさせていただきます。

参加費：無料

※お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop-at-site/workshop-at-site-form>

。○○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○○。

●「陥没対応に思う」（技術評価部 M.A さんからの投稿です）

この正月休みに車で帰省した際、帰路の高速道路で交通事故が発生していた。車窓から通り過ぎていく現場を見ると 3～4 重の追突事故らしい。警察車両は 2～3 台、救急車が見えなかったのが幸い、けが人はいないらしい。帰省ラッシュに輪をかけて大渋滞となっており当事者ではない者には、甚だ迷惑千万である。と言いたいところであるが、交通事故は、いくら注意して運転をしても加害者にも被害者にもなってしまう恐ろしさを持っている。高齢者ドライバーによる逆走での正面衝突事故ばかり、アクセルとブレーキを踏み間違えた対物、対人事故ばかりである。

事故と言えば、つい先日発生した福岡市博多での陥没事故がある。陥没の原因は下水道でも老朽化でもないが、下水道を含めて様々な地下埋設物が存在していることから都市機能を停滞あるいは停止させてしまうという、交通事故と同じような怖さを感じた。

下水道に起因する陥没事故は、近年全国で年間 3,500 件ほど発生しているということで、均せば一日に 10 件も日本のどこかで発生していることになり、これもまたびっくりである。だが下水道の陥没事故は、取付管やその接続部分で発生しているケースが多いとのことで、比較的土被りが浅いので甚大な被害とまではならないようであるが、近頃は様々な地下埋設物が輻輳していることから都市機能を停滞させてしまうことに繋がる。博多の陥没事故とまではいかないまでも、もし取付管やその接続部分が破損したらトイレは使えない、排水ができなければ水道も、場合によってはガスや電気も支障が出て、マイカーの出入りもできない、通行規制あるいは人身事故の発生というパニック状態にすら陥ってしまうことになる。下水道が整備されて 50 年以上も経つ管きよがこれからどんどん増えていくが、陥没事故を減らすとなると、特に取付管の予防予知機能や仕組み、コストダウン、探査や調査技術、施工品質といったキーワードに当てはまる開発や整備がさらに重要になってくるのではないだろうか。

- 第20回全国児童生徒地図優秀作品展にて「マンホールに刻まれたつくば市の歴史」が文部科学大臣賞を受賞しました（国土地理院）
- 「下水道アドバイザー」を募集します（（一財）下水道事業支援センター）
- TV番組出演のお知らせ（（公社）日本管路管理業協会）

=====

○第20回全国児童生徒地図優秀作品展にて「マンホールに刻まれたつくば市の歴史」が文部科学大臣賞を受賞しました（国土地理院）

国土地理院が事務局をつとめる「全国児童生徒地図作品展連絡協議会」では、「第20回全国児童生徒地図優秀作品展」に推薦された作品の中から「国土交通大臣賞」及び「文部科学大臣賞」を選定しました。

そのうち、「文部科学大臣賞」を受賞した作品は、「マンホールに刻まれたつくば市の歴史」というものです。下水道のマンホールに限りませんが、つくば市内のマンホールを調べて地図にまとめたそうです。新旧たくさんのマンホールの模様から、合併前の旧町村や筑波研究学園都市開発の歴史を少し知ることができた、とのコメントがあります。以下の日程で本省及び国土地理院本院で展示予定だそうです。

ぜひご覧ください。

国土交通省1階展示コーナー（東京都千代田区霞が関2-1-3）

平成29年1月11日（水）から1月20日（金） 9時30分から17時

国土交通省国土地理院「地図と測量の科学館」（茨城県つくば市北郷1番）

平成29年1月7日（土）から2月19日（日） 9時30分から16時30分

休館日：1月10日・16日・23日・30日、2月6日・13日

<詳しくはこちら>

国土地理院の報道発表

<http://www.gsi.go.jp/kohokocho/kohokocho65006.html>

- 「下水道アドバイザー」を募集します（（一財）下水道事業支援センター）

「下水道アドバイザー制度」は、下水道事業の円滑な実施と良質な社会資本の整備に寄与することを目的として、下水道管理者等が下水道アドバイザー（国土交通省、日本下水道事業団、地方公共団体等で下水道事業を豊富に経験し、退職された方）のアドバイスを気軽に受けられる制度です。

下水道担当者の研修会や排水設備責任技術者講習会の講師等にご利用いただいております。

アドバイザー機関である（一財）下水道事業支援センターでは、平成29年度以降「下水道アドバイザー」として新規登録を希望される方を募集しております。

下記ホームページを参照の上、積極的にご応募いただくようお願いいたします。

募集締切：平成29年2月17日（金）

ホームページ（下水道事業支援センター）

<http://www.sbmc.or.jp/11adviserHP/index.html>

ご応募・お問い合わせ先

（一財）下水道事業支援センター事業部 三谷

TEL. 03-6803-2684 E-mail: mitani@sbmc.or.jp

○TV 番組出演のお知らせ（（公社）日本管路管理業協会）

（公社）日本管路管理業協会 長谷川会長が、下記 TV 番組に出演することになりました。

1月14日（土）朝6時～8時

テレビ朝日系列「週刊ニュースリーダー」番組内コーナーの

「ニッポンの仕事人 週刊リーダー列伝」

6時20分頃から10分程度（多少前後する可能性あり）

TOKIOの城島リーダーへの作業や機器の説明、管内に入り異常箇所の点検も行っております。

【参考情報】

◆下水道施設被災で図上訓練／県と市町村 大規模地震発生を想定〈1/13 宮古毎日新聞〉

<http://www.miyakomainichi.com/2017/01/96354/>

◆下水処理施設で太陽光発電 南箕輪村計画〈1/11 長野日報〉

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/12288>

◆マンホールカード人気 ご当地図柄、高額売買も〈1/10 佐賀新聞〉

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/393813>

◆どんどん広がるマンホールカード〈1/10 東日新聞〉

<http://www.tonichi.net/news/index.php?id=57783>

◆南箕輪浄化センター 太陽光発電パネル設置検討〈1/10 伊那毎日新聞〉

<http://inamai.com/www/ictnews/detail.jsp?id=46611>

◆ふたマニアも熱視線 マンホールカード作製〈1/5 河北新報〉

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201701/20170105_13040.html

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ: <http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20161031/>

